

四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立 楠小学校

校長 鈴木 敏夫

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

楠小学校は、四日市版コミュニティスクールの指定を受け7年目となりました。学校教育目標「人間性あふれる心を育み、明るくたくましく生きる子を育てる」を実現するため、学校をサポートいただいている保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、学校教育のさらなる充実を図りました。コロナ禍ではありましたが、感染対策を十分にとった上で、今年度も地域の方々が先生となる土曜日等教育活動「一日先生」を行い、学校・家庭・地域の連携をより深めていけるように、取り組みを進めました。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

地域の教育力を生かした特色ある教育活動として、例年1年生が行っている「昔の遊び交流会」や2年生が行っている地区探検、4年生が行っている中学生の合唱や演奏の鑑賞などは、新型コロナウイルス感染症の影響により行うことができず、限られた学年でしか地域学習を行うことができませんでした。

3年生では、自然保護団体の方を招いて吉崎海岸に産卵に来るウミガメの生態について学習したり、ホテル保存会の方を招いて本郷地区のホテルについて学習したりしました。また、11月には、老人会の方々に来ていただき、「フロッカー」というスポーツを教してもらいながら一緒に行ったり、グループごとに、高齢者の方が楽しみにしていることや困っていること、昔の楠地区の様子などについて聞き取る学習を行ったりしました。

5年生では、今年度も学習園での米作りに取り組みました。楠地区にも田はたくさんありますが、田植えと稲刈りくらいしか目にする機会がない子がほとんどです。学習園で米作りをすることで、水の管理など毎日の世話が大切なことに気づく子がいたり、稲穂を取ってから、乾燥、脱穀、もみすり、精米など様々な過程を経て初めて白米となることに気づく子がいたりするなど、体験を通してあらためて米作りの大変さを学ぶことができました。



全学年を通して、研修テーマの実現に向けた日々の授業実践に取り組むとともに、人権総合学習を柱とし、学年ごとに人権テーマを設定して研修を進めました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、四日市公害と環境未来館での語り部学習ができなかったりするなど、計画どおりに進められなかった部分もあります。学んだことを交流する段階では、視覚的にもよくわかるように、拡大コピーやカラーコピーを活用するとともに、ろうか等にこれまで学習してきた内容を掲示する等の活動に取り組みました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取り組みによる効果

運営協議会開催の際には、授業参観を実施し、日常的な授業の様子や学校が行っている新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について見ていただきました。学校での学習の様子を年間通して見ていただくことで、子どもたちの成長を理解していただくとともに、「コロナ禍を前向きにとらえ、従来通りやってきたことを見直してよりよい学校にしていくスタートにしてほしい」との力強い助言をいただきました。

コロナ禍ではありましたが、「一日先生」では、各スポーツ少年団や楠子連、消防団、地域の習字教室やモノづくりサークル等の様々な団体の協力を得て活動することができました。文化、スポーツ、体験、ものづくり等、20種類の教室を開設し、その中から希望をとって2種類経験できるという活動です。従来人気のあったお菓子作りなどの活動はできませんでしたが、新しくバレー教室や歴史教室などを加えて、教室全体の数は減らさずに実施することができました。運営協議会の方々には、保護者対象の教室も合わせて活動全体をコーディネートしていただきました。

自由参加にも関わらず74%の児童が参加するなど、大変好評でした。PTAの方々にも子どもの移動に際して安全を見守っていただき、今年度から大人対象の教室運営もお手伝いいただきました。このように、コミュニティスクールで企画した活動が、楠地区を挙げての取り組みとなり、しっかりと定着したものになってきています。



3 今後に向けて

運営協議会からの独自企画として始まった「一日先生」の取り組みが定着し、地域との連携事業としてしっかりと位置づいてきています。しかし、学習に関しては、臨時休校明けの1学期や、状況が悪化した3学期においては、例年通りであれば行っているであろう地域学習や保護者への公開が思うようにできず、総合的な学習での地域教材の開発ができませんでした。まだまだ地域教材活用の工夫は可能であると考えます。新型コロナウイルス感染症の状況をにらみつつの判断となりますが、保護者・地域と連携をさらに進めていくという意識を高め、子どもたちの自尊感情の育成や地域を愛する心情の育成につなげていきたいと考えています。

別紙B

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 楠 小学校

委員長 田中 由紀子

校長 鈴木 敏夫

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会(13日)	※臨時休業により中止
6	第2回運営協議会(30日)	<ul style="list-style-type: none">・今年度活動計画等について・今年度学校づくりビジョンについて・授業参観・「一日先生」の検討
7		
8		
9	第3回運営協議会(19日)	<ul style="list-style-type: none">・「一日先生」(地域活動費事業)
10		
11	第4回運営協議会(11日)	<ul style="list-style-type: none">・授業参観・「一日先生」の反省
12		
1		
2	第5回運営協議会(10日)	<ul style="list-style-type: none">・学校アンケートの結果について・運営協議会年間総括
3		